

# 駆け抜けた3800人

# 北海道新聞

発行所  
北海道新聞社

郵便番号 060-8711  
札幌市中央区大通西3-6  
電話 011(221)2111  
© 北海道新聞社 2011

# 速報

インターネットで道新ニュース  
[www.hokkaido-np.co.jp](http://www.hokkaido-np.co.jp)

ご購入申し込みは  
0120-464-104

## 第24回伊達ハーフマラソン



だて歴史の杜総合公園の駐車場をスタートしたハーフマラソン出場選手たち

### 男子・八熊さん、女子・豊島さん優勝

全道各地から集まったランナーが、春の伊達市街地や郊外の田園地帯を巡って健脚を競う「第24回春一伊達ハーフマラソン大会」(春の合宿村まつり実行委員会、北海道新聞社主催)が17日、伊達市のだて歴史の杜総合公園を発着点とするコースで行われた。ハーフマラソン一般男子A(40才未満)は茨城県龍ヶ崎市から出場した八熊謙太郎選手(19)が1時間9分15秒、同女子A(50才未満)は札幌市の豊島典子選手(32)が1時間21分38秒でゴールのテープを切って優勝した。

道内の市民ランナーにとっては、マラソンシーズンの幕開けを告げる人気の大会。今大会の出場申込者数は、同時開催の全道小学生駅伝大会に参加する24チームの120人も含め3803人に達した。前回よりもちょうど200人増えて過去最高を更新している。だて歴史の杜カルチャーセンター前で開かれた開会式では札幌市の鈴木

亜紀さんが「私のふるさとには仙台市。東日本震災で被害を受けた被災地の人々のことを思いながら走り抜きます」と力強く選手宣誓した。

コースは3キ、5キ、10キとハーフの21・0975キの4種類。3キ、5キ、10キのコースでは同公園をスタートして北へ向かい、3キと5キは市内竹原町内、10キは関内小学校の手前付近で折り返した。

一方、ハーフマラソンコースは同公園を出た後、梅本町内を南下して伊達信金本店前の交差点で国道37号を横断。網代町の伊達市商工会議所前の給水所、JR伊達駅別駅前などの市街地を駆け抜け、その後は旧国鉄胆振線跡のサイクリングロードを経て、上長和や西関内、東関内などの田園の中を快走するコースでタイムを競った。

3キコースでは出場者を小、中学生に限定。5キコースは一般と高校生女子が走り、10キコースは一般と高校生男子、車いすでの参加者が出場した。競技はまず、号砲とともにハーフマラソンのランナー約2300人がスタート。10キ、3キ、5キの順に同公園を飛び出して行った。

掲載写真を個人観賞用に限り有料でお分けします  
お申込み、お問い合わせは「道新写真サービス」  
(電話011-210-5805)受け付けは月  
々金曜日(祝日を除く)の9時30~17時まで



# 春一番 笑顔の快走



網代町商店街の給水所付近を駆け抜けていくランナー

雪解けが進む自宅周辺の道路でジョギングを続け、この日に向けて調整を続けてきた市民ランナーたち。市街地では、市民から「みんな頑張ってる」との大きな声援を受けて心地よく疾走し、伊達市郊外では有珠山や昭和新山を見渡す雄大な風景の中を力走した。



伊達市郊外のサイクリングロード上を走る選手  
だて歴史の杜カルチャーセンター前で選手宣誓する鈴木亜紀さん



国道37号を横断して伊達市中心部に向かうランナーの集団